

2019年4月吉日

報道関係者各位

虎屋文庫機関誌『和菓子』26号発行

2019年3月発行(年1回発行)

B5版/140頁/1,000円(税込) 送料実費

虎屋文庫では、和菓子をテーマとした展示(今秋開催予定)、講演会の開催ほか、和菓子関連資料の収集、機関誌の発行などの活動を行なっております。この度、機関誌『和菓子』26号を発行いたしましたので、概要をお知らせ申し上げます。

機関誌『和菓子』とは

和菓子に関連する事柄についての論文や史料翻刻を中心とした学術雑誌で、1年に1回、発行しております。毎号「菓子とまじない、占い」「羊羹」「地域資料に見る菓子」など、菓子に関わる特集を設けています。

巻頭言

史料に出会うよろこび

江原 絢子(東京家政学院大学名誉教授)

特集 和菓子作りとその周辺

○植物染料「青花紙」による和菓子の色付け

落合 雪野(龍谷大学農学部教授)

ツクサの栽培品種であるアオバ^{あおばな}の花弁からとる色素は、「青花紙」という独特の形で流通します。着物の友禅染の下絵用絵具、浮世絵の彩色用絵具として使われることで知られますが、第3の用途として、食品の色付けへの利用を挙げ、金平糖や落雁など、菓子に使用された事例を史料から紹介されています。

○江戸時代の着色料「紅」に関する基礎的考察 ―料理書・菓子製法書の記述を中心に―

立川 亜理沙(伊勢半本店 紅ミュージアム学芸員)

べにばな^{べにばな}の赤色色素から作られる「紅」を用いた食品着色の様相を、江戸時代の料理書・菓子製法書から読み解きました。添加量により濃淡を調整したことや、他の着色料と混ぜて色を作ったことなどに加え、料理人や菓子屋が、熱に弱く退色しやすい紅の色を美しく保つため、「紅留め」と呼ばれる技法を工夫してきたことを示されています。

○あんの歴史 ―その歩みを辿る―

吉田 隆一(和菓子研究家)

「あん」という言葉は古くから確認されるものの、その実態は非常に掴みづらいところがあります。多くの史料にあたり、小豆と砂糖を使ったあんが、日本独自のものと意識され定着、発展する様子や、製法に関する記述が詳細になっていくさま、製餡業のはじまりまでを俯瞰されています。

○製菓関連史料翻刻

むしがしひながたしかた^{むしがしひながた}むしがしひながたならびにしただかた
「蒸菓子雛形仕方(蒸菓子雛形 并 仕立方)」「(東北大学附属図書館狩野文庫蔵)」「御菓子仕用帳 蒸くわし控

干くわし控」「江戸菓子屋より菓子製法申出書留」(いずれも虎屋文庫蔵)の3点を翻刻しました。1点目は、幕府御用をつとめた江戸の菓子屋・金沢丹後の製法書です。文豪・幸田露伴が著作の中で言及し、その後所蔵先不明とされていたものであることが今回判明した、必見の史料です。2点目は京都の名店として知られた^{かめ やしのり}亀屋良則の配合帳、3点目は^{ふじわらまんぶん ふたもと か がじょう}藤原万文や二本加賀掾を含む江戸の菓子屋の配合や製法の書留です。

○虎屋の白小豆

虎屋文庫

江戸時代から現代に至る、虎屋の白小豆の利用について報告します。昭和初年から委託栽培を続けてきた歴史や、昨年「^{ふくしろ}福とら白」の名称で品種登録が認められたことなどを、資材部・開発研究室と共にまとめました。

和菓子研究

○東京東部における菓子製造卸業の展開

荻原 ちとせ(足立区立郷土博物館学芸員)

東京東部の菓子製造卸業者の分布が、明治から昭和 30 年代にかけて、東 ^{ひがしりゅうかんちょう やまとちょう}竜閑町・大和町(現千代田区)から錦糸町(現墨田区)・芝崎町(現台東区)へ、さらに荒川区・足立区へと伸展していくさまを示されました。これらの地域に多い小規模な企業が、日本の菓子製造卸業において果たす役割についても考察されています。

虎屋の御用記録の翻刻

前号に引き続き元禄 13 年(1700)「^{しよかた ご しょうとめちやう}諸方御用留帳」(虎屋黒川家文書)の翻刻を掲載します。元禄 15 年 2 月から翌年 3 月までの記事となり、仙台藩主^{だて つなむら}伊達綱村から素麺の注文を受けた記録も見られます。

購入方法

FAX・E-mail にてご注文ください。一般には流通しておりません。通信販売にて承ります(送料実費)。

バックナンバーも販売中 〈 価格 19・22～25 号 1,000 円、他は 900 円(いずれも税込) 〉

各号特集タイトル ※創刊号～4、6、13～14 号は完売しました。

5 号 和菓子原材料の現在	12 号 唐菓子	20 号 羊羹
7 号 歴史資料と和菓子	15 号 菓子道具	21 号 贈答と菓子
8 号 外来食文化と和菓子	16 号 武家社会と菓子	22 号 地域資料に見る菓子
9 号 九州	17 号 江戸と菓子	23 号 あめ
10 号 民俗と菓子	18 号 甘味料をめぐって	24 号 近代と菓子
11 号 菓子とまじない、占い	19 号 菓子史料コレクションから見えるもの	25 号 藩と菓子

購読お申し込み・お問い合わせ先

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-9 赤坂 MK ビル 2 階

株式会社 虎 屋 虎屋文庫

電話 03-3408-2402 FAX 03-3408-4561

URL: <https://www.toraya-group.co.jp/>

E-mail: bunko@toraya-group.co.jp